港の京東



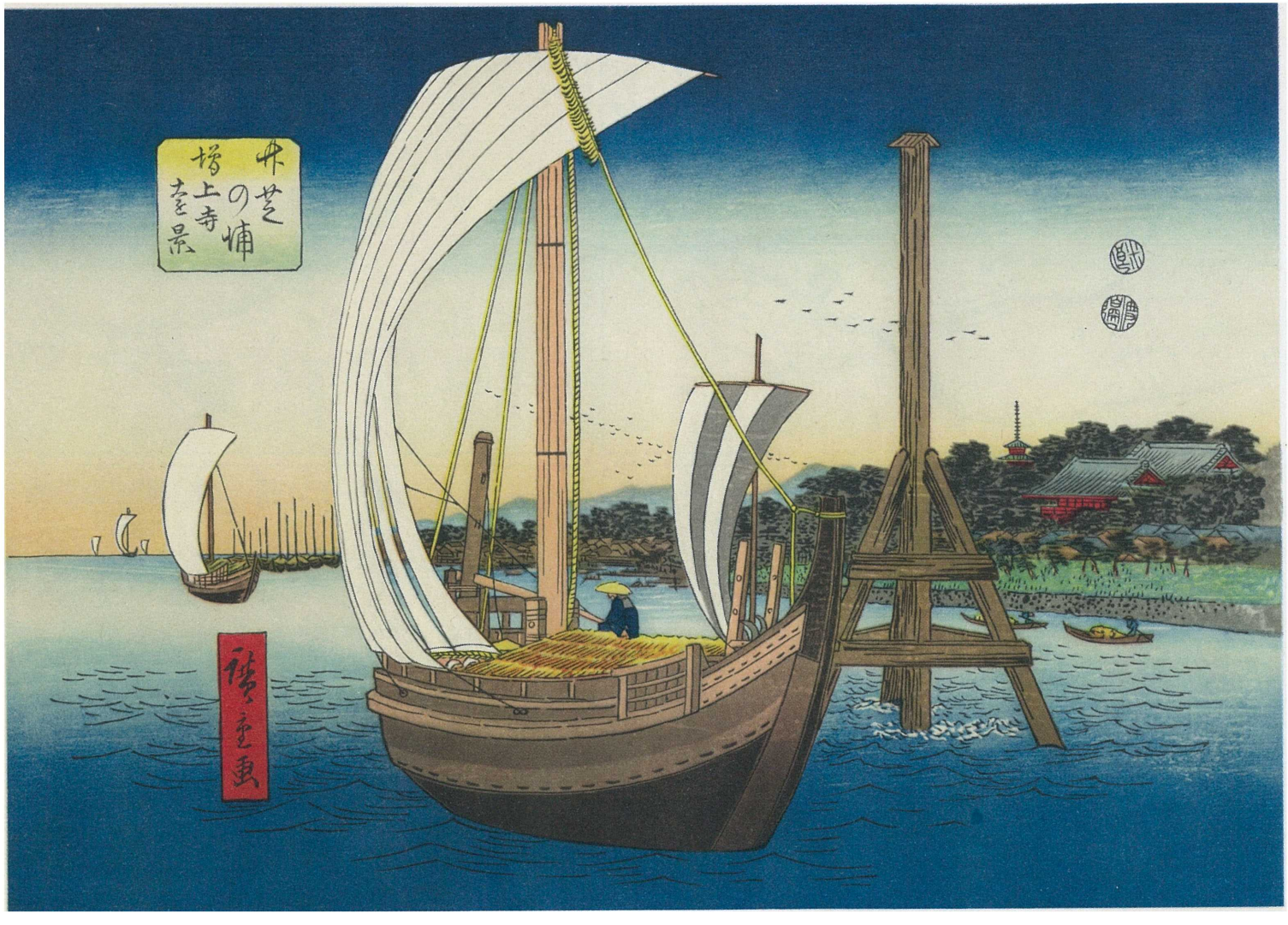
帖眞寫港京東

念記年周拾設開頭埠

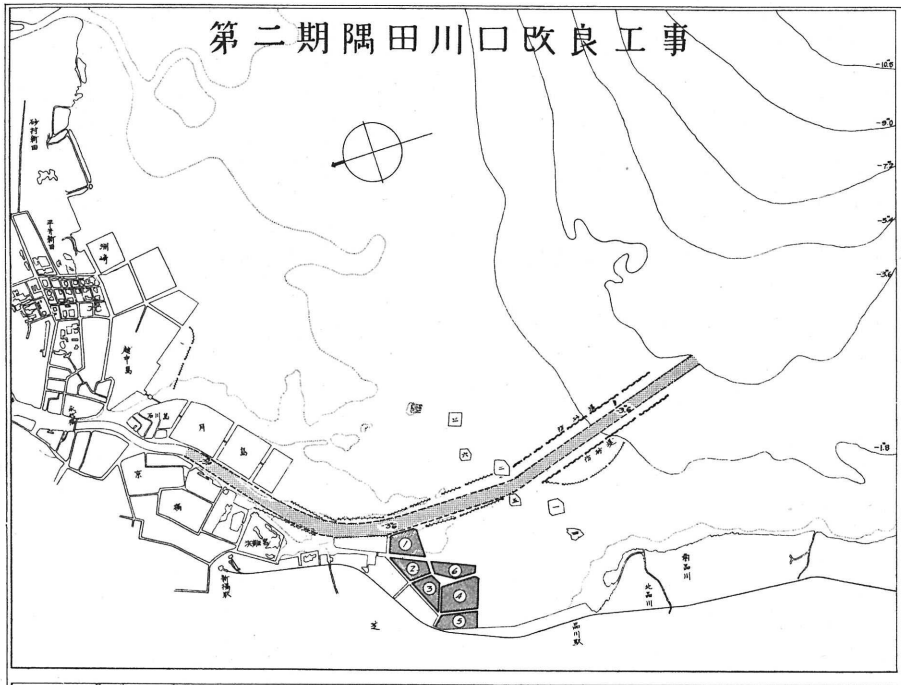
月六年一十和昭

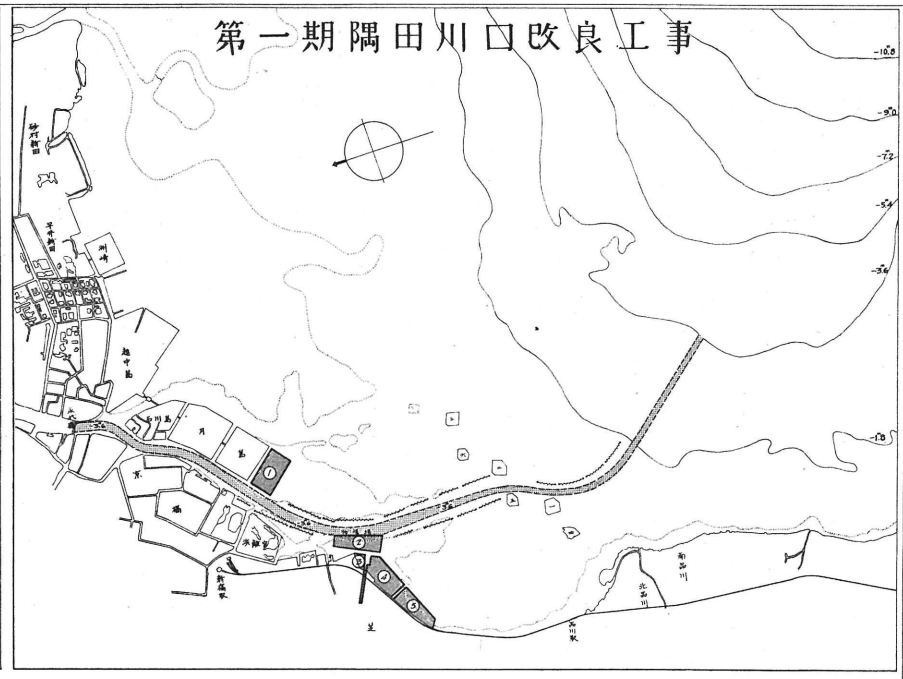


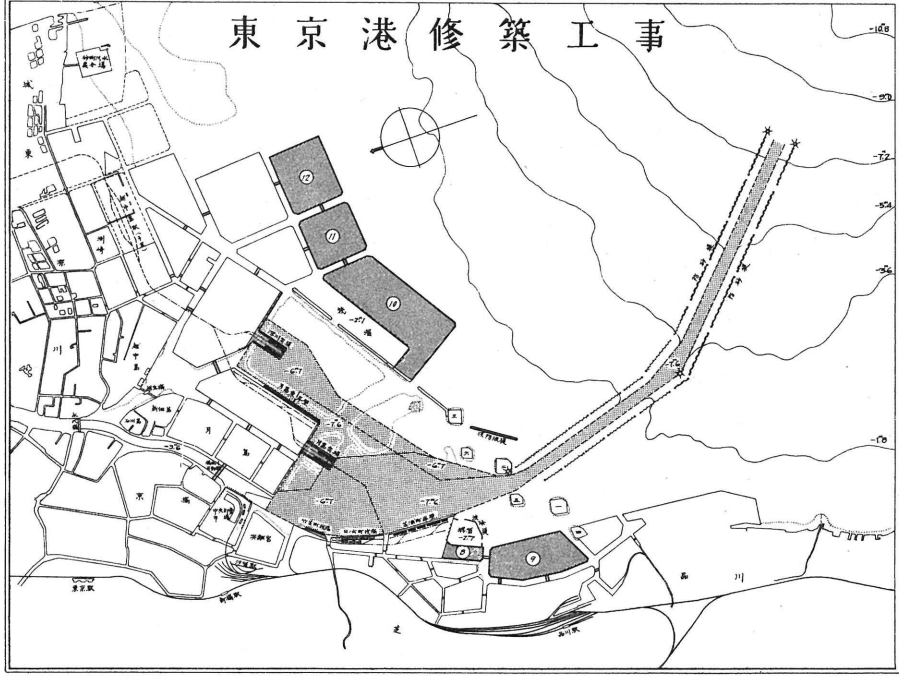
會興振港京東

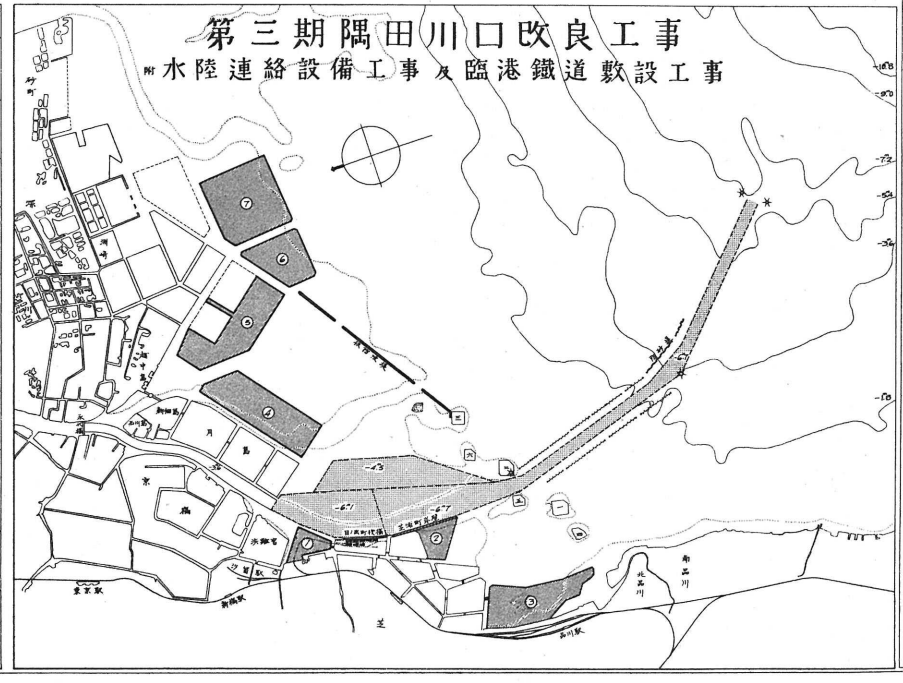

芝の浦
増上寺
之景

東京築港變遷圖









縮尺
1:29,115

凡例

既設	新設	埋立
		埋立地
		浚渫區域
		防波堤
		防砂堤
		繫船岸
		繫船浮標
		物揚場
		上屋
		鉄道
		橋梁

備考

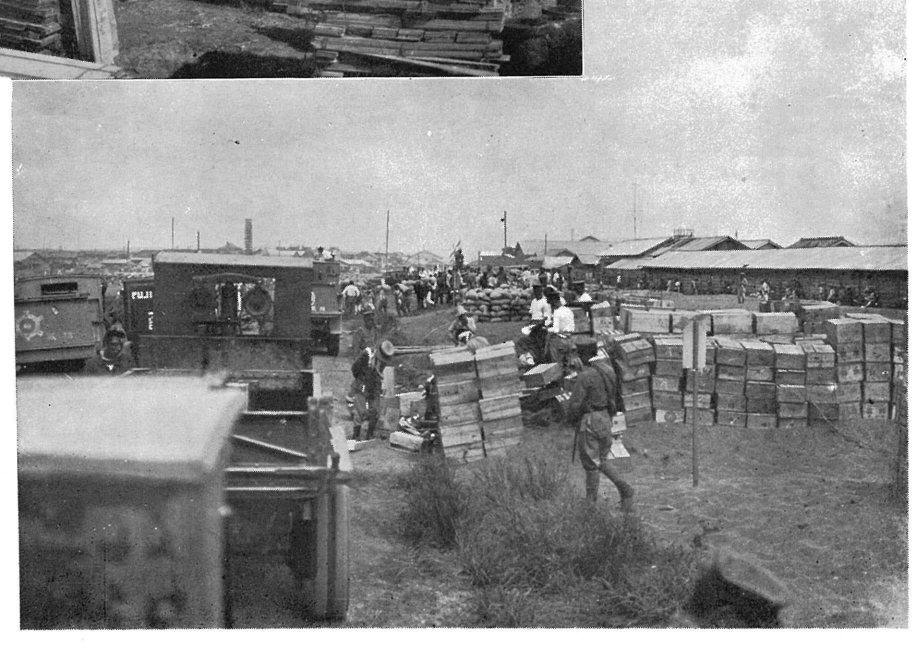
第一期隅田川口改良工事	
工期	自明治37年度 至 〃 44 〃
工費	2,512,106円
第二期隅田川口改良工事	
工期	自明治44年度 至 大正 5 〃
工費	1,923,289円
水陸連絡鉄道工事	
工期	自大正7年度 至 〃 14 〃
工費	1,573,530円
臨港鉄道敷設工事	
工期	自明治 3 年度 至 〃 3 〃
工費	272,071円
第三期隅田川口改良工事	
工期	自大正 7 年度 至 昭和 8 〃
工費	17,914,563円
東京港修築工事	
工期	自昭和5年度 至 〃 12 〃
工費	33,000,000円



第三臺場より内港を望む







大正震災當時

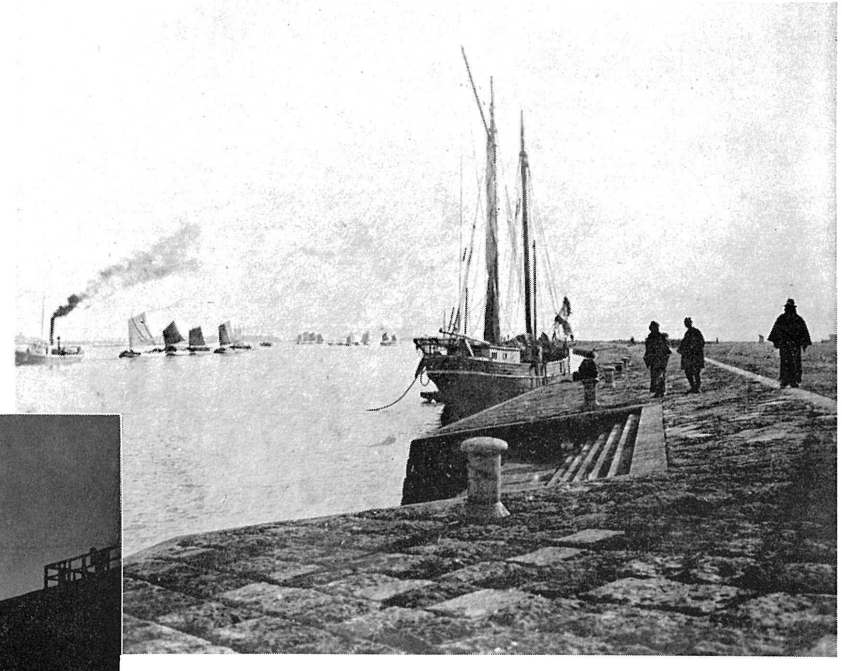
上右　芝浦に於ける軍海の食糧品運搬

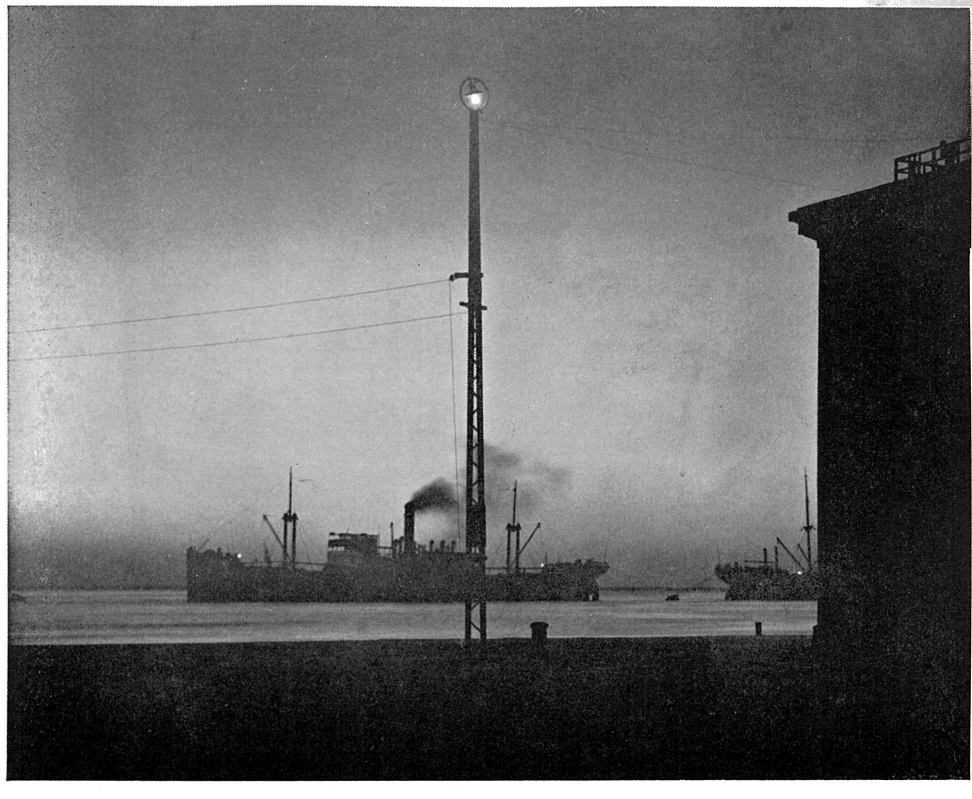
下　同救援物資野積の狀況

上左　築地明石町河岸に於ける救援品揚陸



「芝浦」の俯瞰





「日の出」埠頭

右　往時の埠頭

左　暁の桟橋





川　　河

右　亀島川口

左　清洲橋より永代橋附近を望む





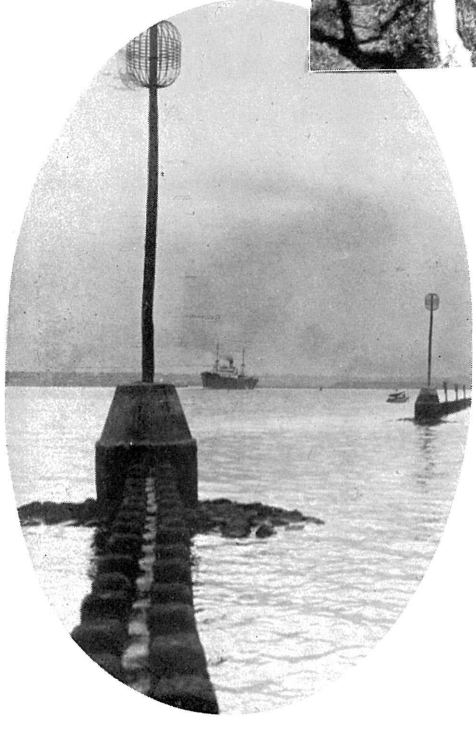
口川田隅

場船繋場市央中　右

景　全　左









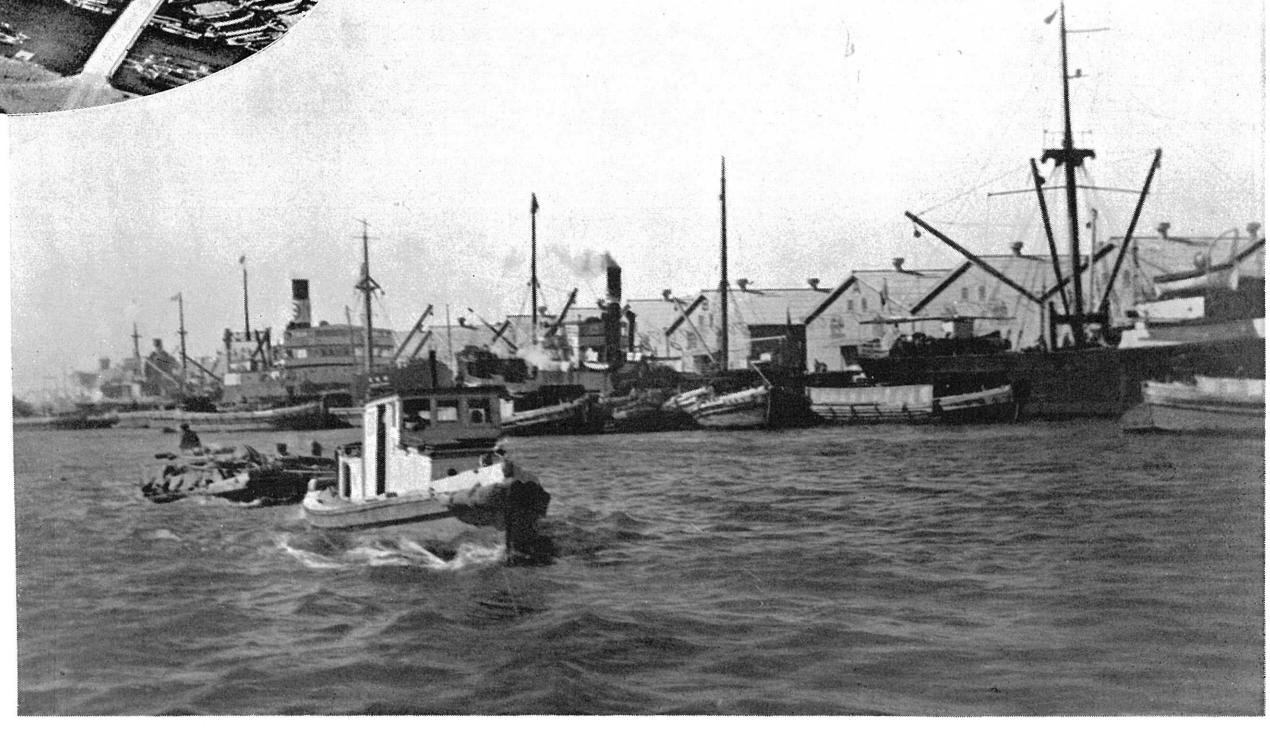
右　港口に於ける浮標灯標

上中　防波堤

下中　港門（燈臺及水上署見張所）

左　航路沿砂防堤

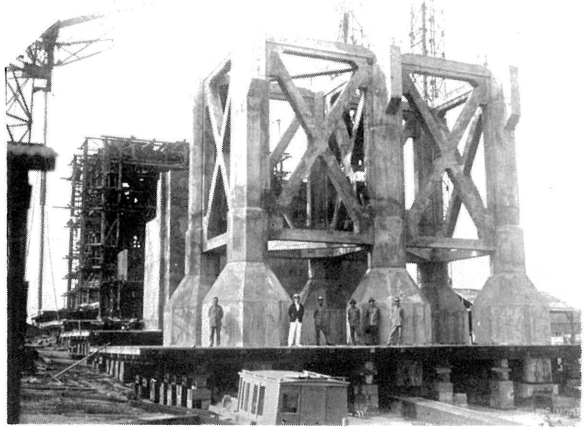




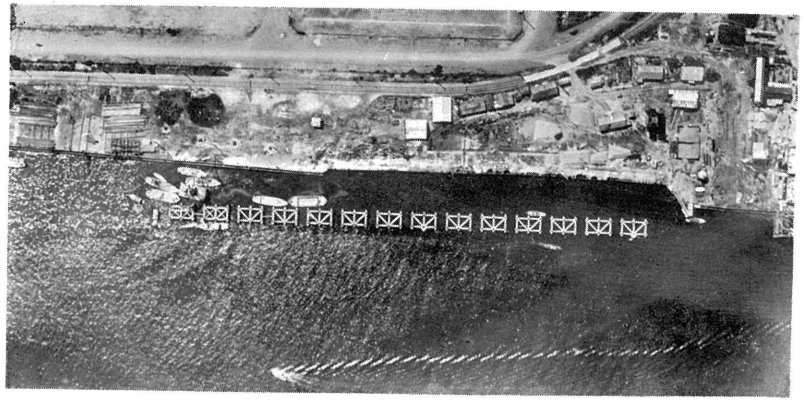
「日の出」埠頭

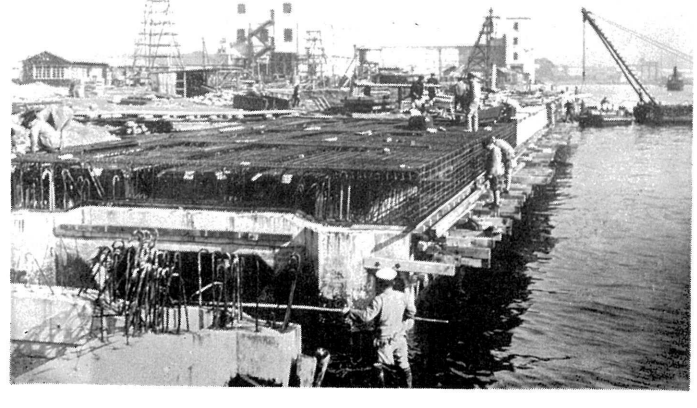
左　全景

右　同桟橋繋船の状況









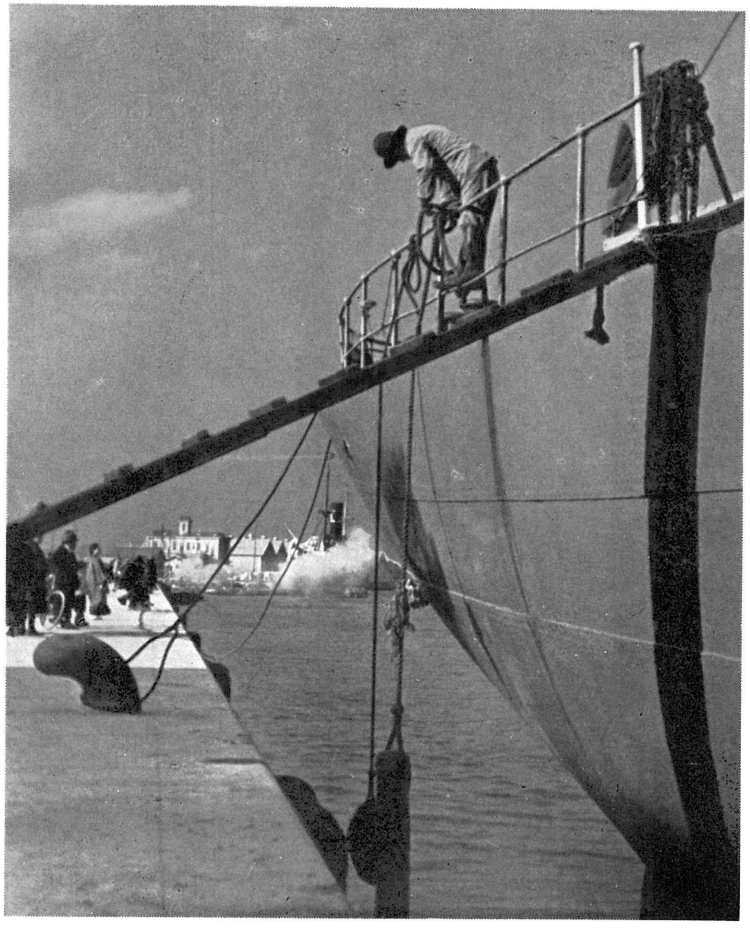
竹芝ドック埠頭

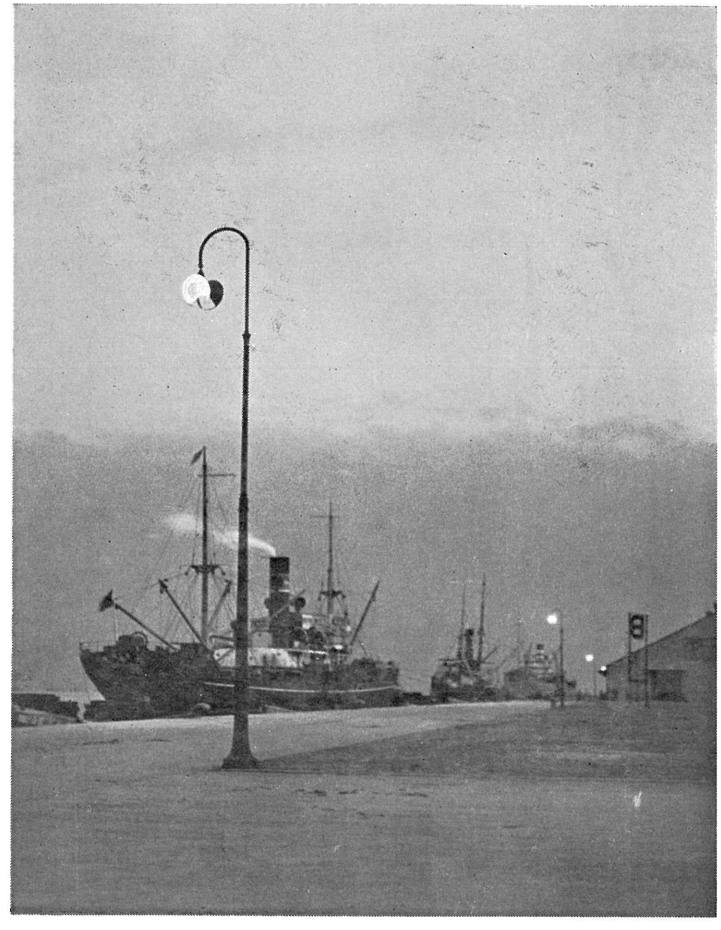
右上　繋留の船舶

左上　艤装の部脚橋桟

左下　同　沈設

右下　上部工事橋桟

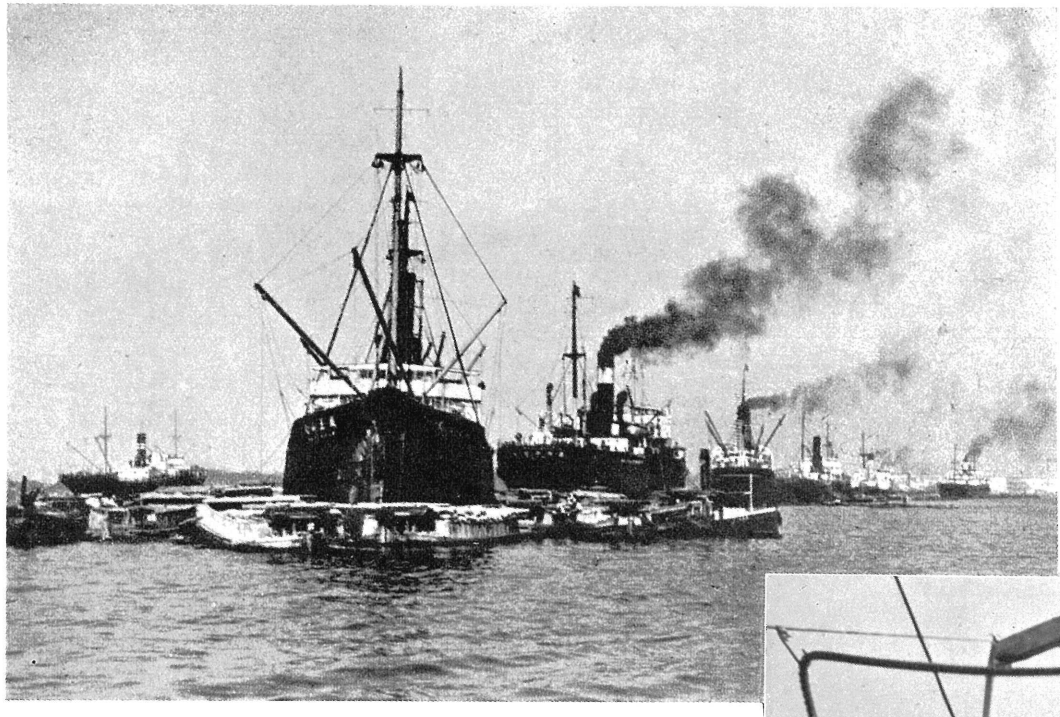




「芝浦」埠頭

右　岸壁の夕

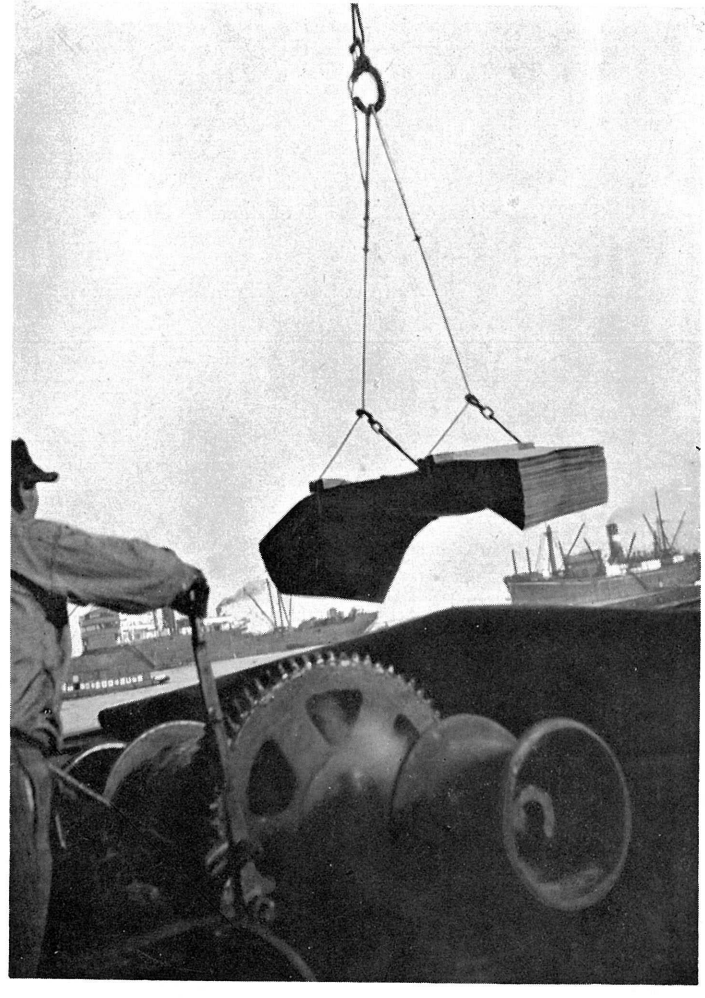
左　同所より「日の出」埠頭を望む





泊　　錨

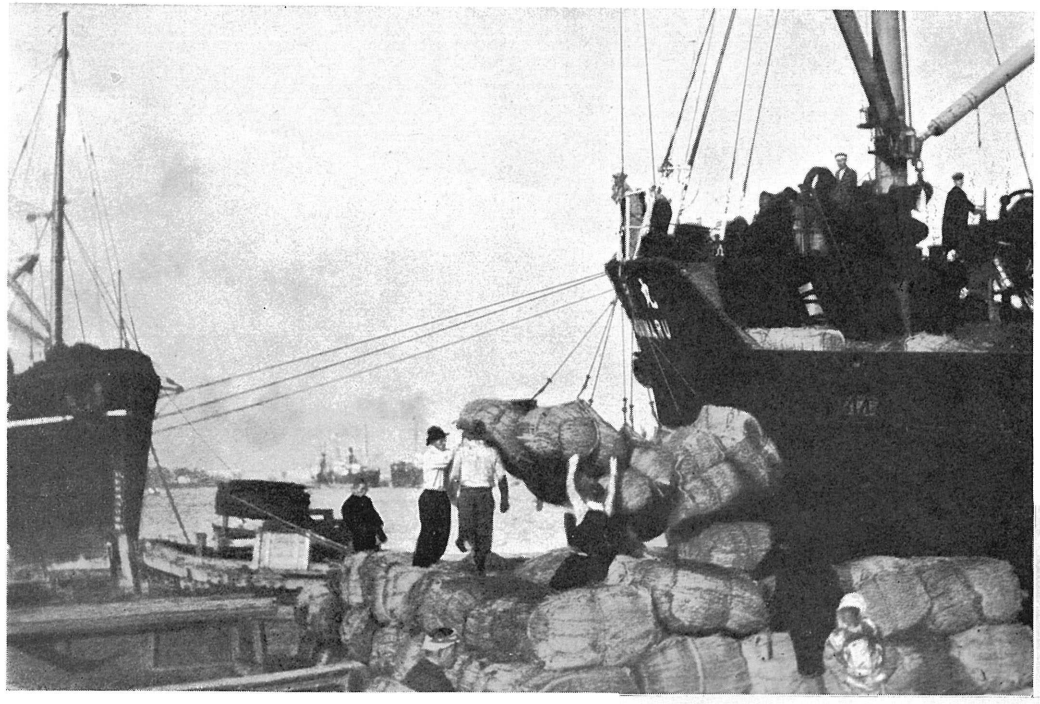


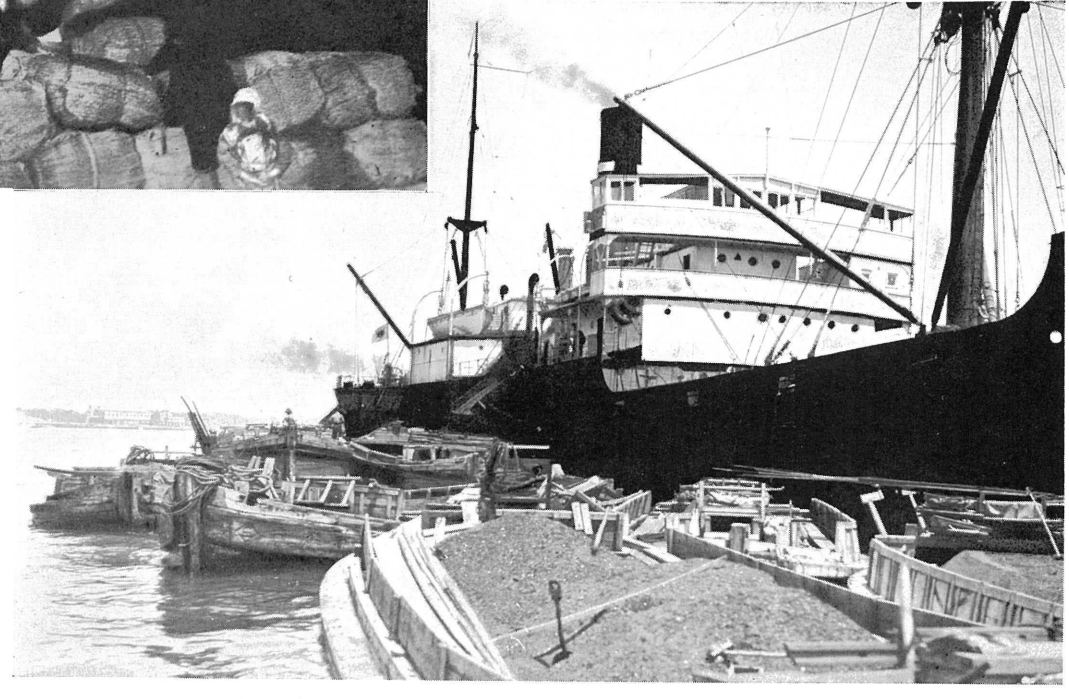


荷役

右　鐵村

左　セメント

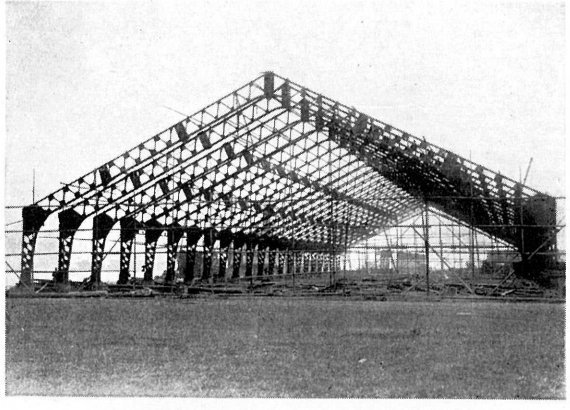


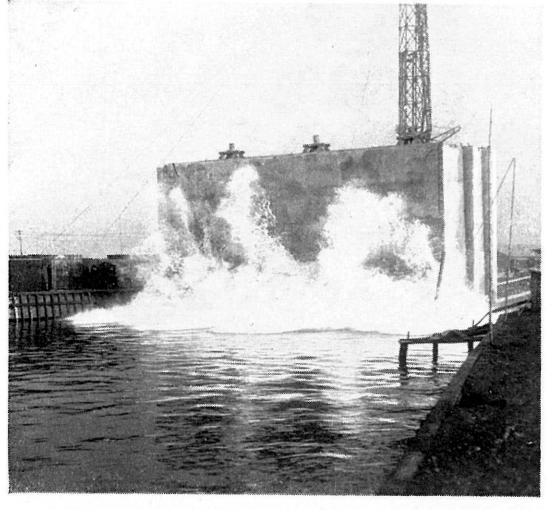


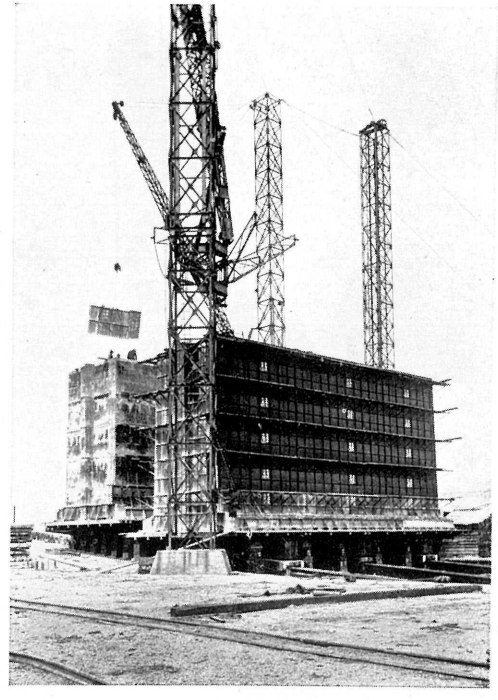
荷役

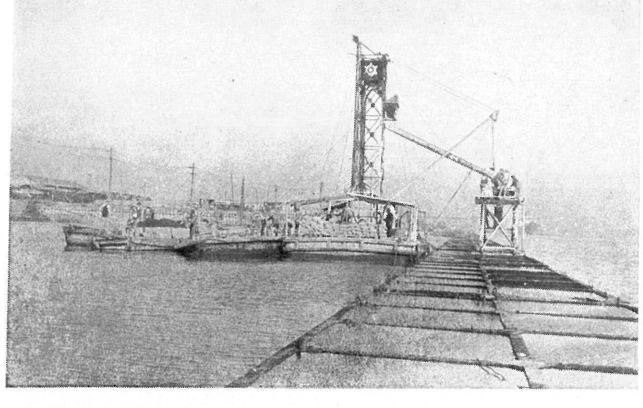
雑貨左

石炭右











工事中の「芝浦」埠頭

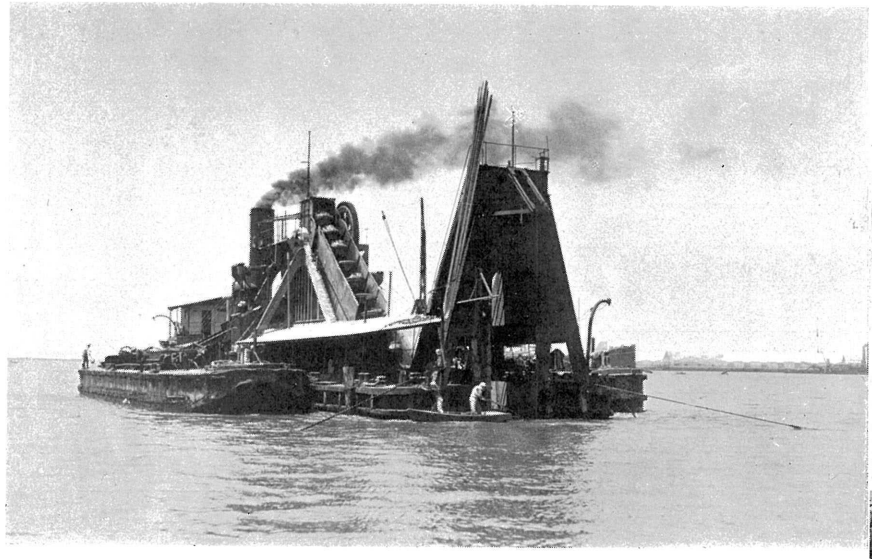
右上　岸壁用潜函製作

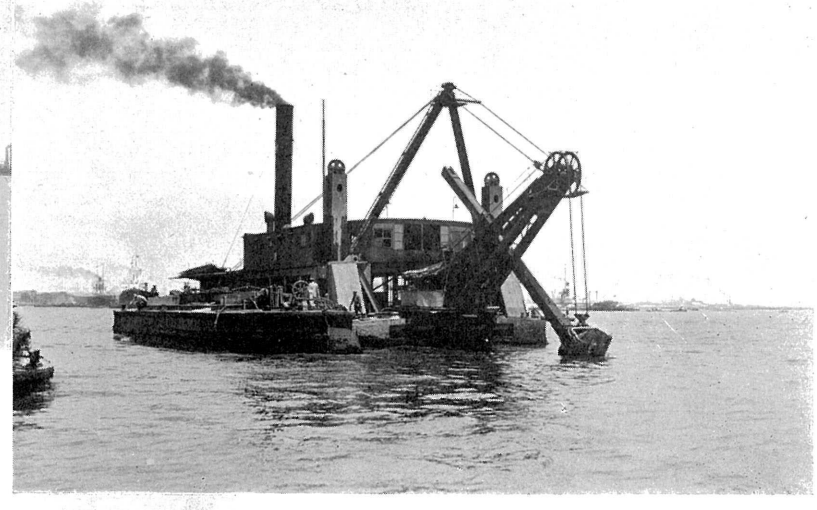
中　同　進水

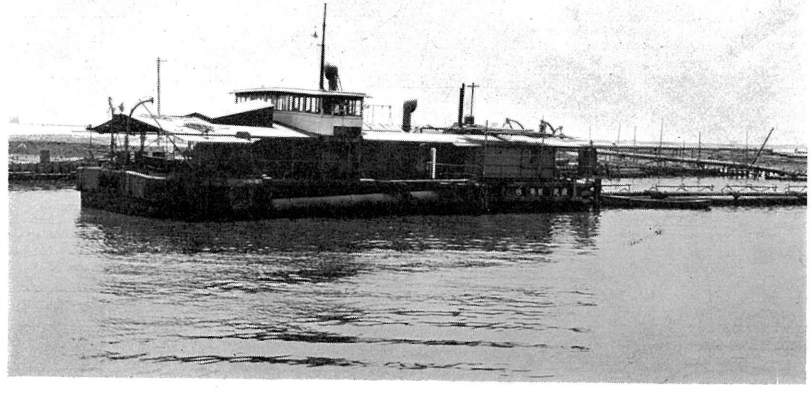
左下　同　沈設

左上　上屋の建設

右下　物揚場の下部







械機立埋濬浚

（式鏈鋤）船濬浚　上左

（式揚掻）　同　上右

（式筒喞）船立埋　下



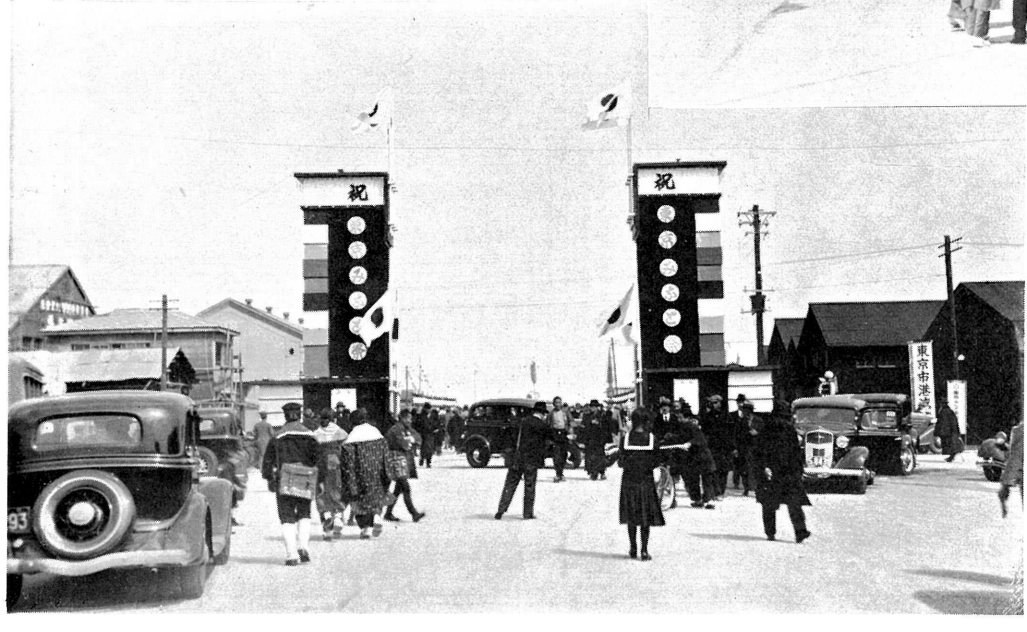


材木港入

上　本船上より水卸

下　筏繋留場



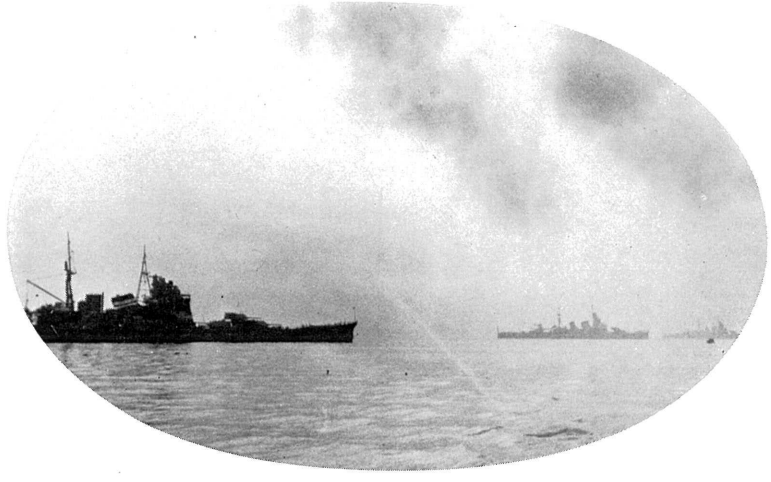


（昭和十年四月）

観艦軍拝　上

祭となみ　下







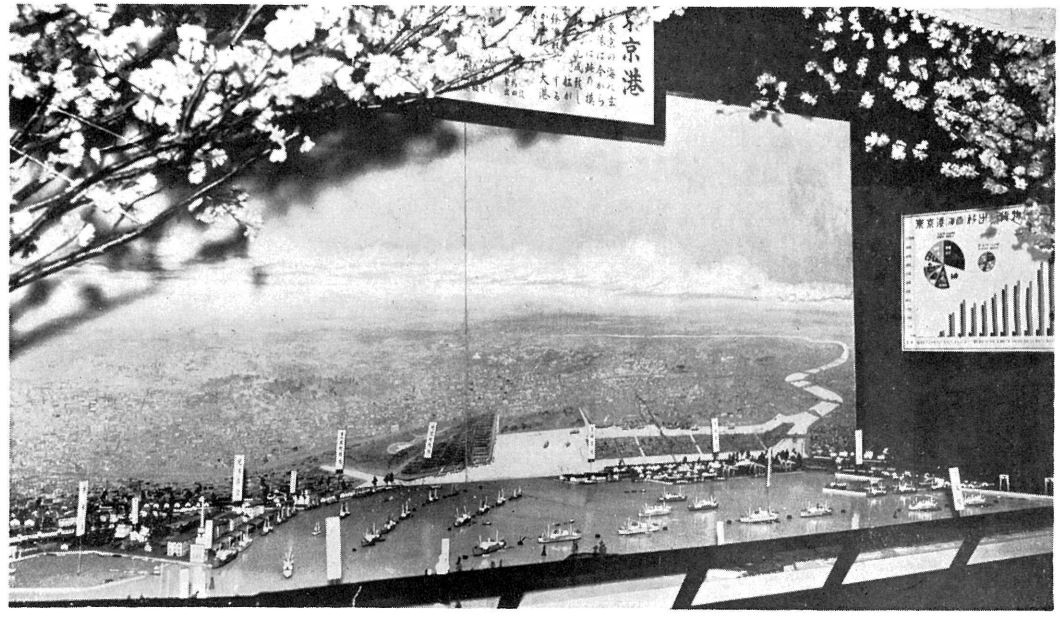
帝國艦隊の入港

（昭和十年十月）

上右　港外に投錨せる艦隊の一部

下右　陸上及艦隊の軍隊を乗せる桟橋の留守軍

左　市内行進の同軍隊

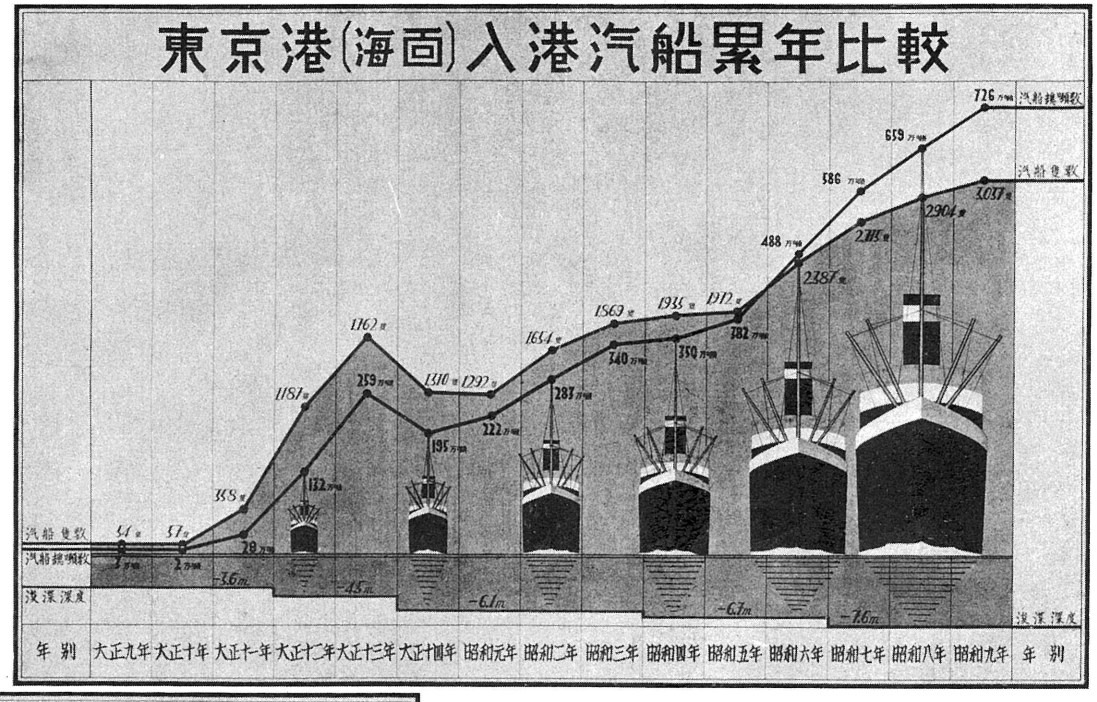


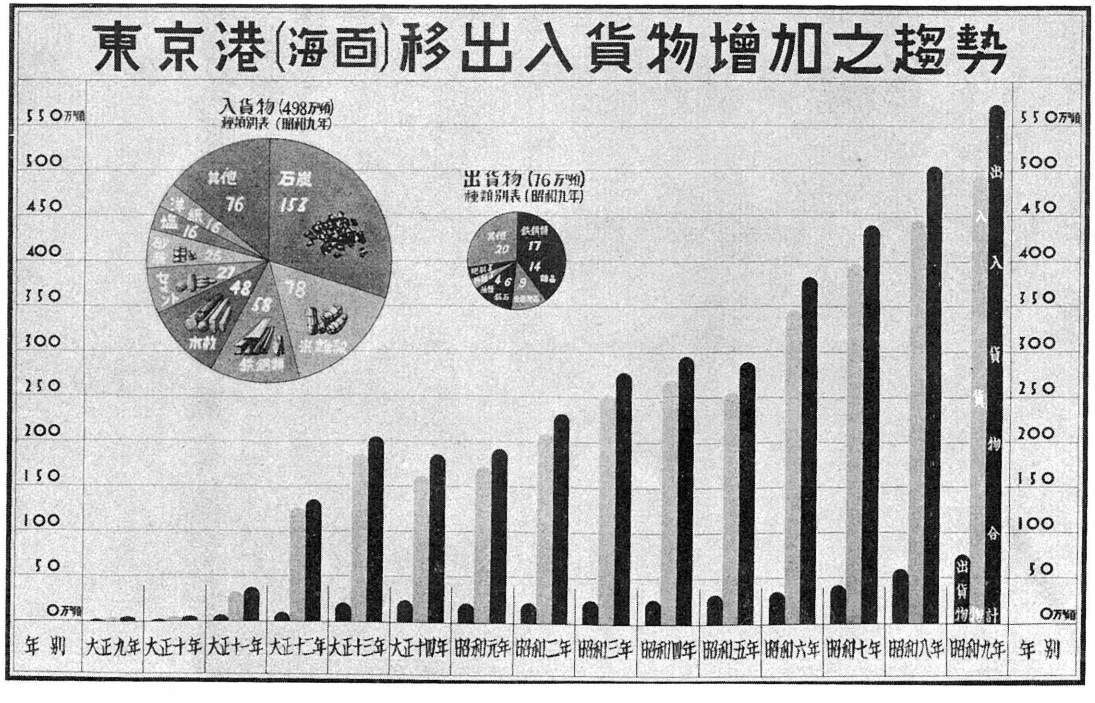


港京東の後成完

景　全　内　港　　右

口　川　田　隅　　左


東京港(海面)入港汽船累年比較
汽船隻数
汽船噸数
汽船隻数
汽船噸数
浚渫深度
浚渫深度
-3.6m
-4.5m
-6.1m
-6.7m
-7.6m
726万噸
659万噸
586万噸
488万噸
3,037隻
2,904隻
2,385隻
2,387隻
1,912隻
1,935隻
1,569隻
1,654隻
1,310隻
1,292隻
1,162隻
1,181隻
388隻
259万噸
222万噸
195万噸
140万噸
132万噸
78万噸
57隻
54隻
年別
大正九年 大正十年 大正十一年 大正十二年 大正十三年 大正十四年 昭和元年 昭和二年 昭和三年 昭和四年 昭和五年 昭和六年 昭和七年 昭和八年 昭和九年
年別


東京港(海面)移出入貨物増加之趨勢
入貨物(498万噸)
種類別表(昭和九年)
石炭 153
鉄鋼 58
木材 48
セメント 27
米麦 18
塩 16
紙 16
その他 76
出貨物(76万噸)
種類別表(昭和九年)
鉄鋼類 17
石炭 14
その他 20
550万噸
500
450
400
350
300
250
200
150
100
50
0万噸
出入貨物合計
出貨物
年別
大正九年 大正十年 大正十一年 大正十二年 大正十三年 大正十四年 昭和元年 昭和二年 昭和三年 昭和四年 昭和五年 昭和六年 昭和七年 昭和八年 昭和九年
年別

勢　　港

東京港一覽圖

凡例

未完成部分

完成部分

縮尺

100m 0 100 200 300 400 500m

100m 0 100 200 300 400 500 600 700 800m